大学院用

【用紙①】スカラネット入力下書き用紙(大学院・法科大学院)

※下書き用紙に表示している内容は2022年1月現在のものであり、実際の表示とは異なる場合があります※

2022年度

スカラネット入力下書き用紙

(大学院・法科大学院)

独立行政法人 日本学生支援機構

=【用紙①】=

本用紙は12ページ(A3サイズ3枚)により 構成されています。

「奨学金案内」冊子及び【用紙②】より外し てご利用ください。

インターネットによる奨学金申込み(スカラネット)にあたっては、「貸与奨学金案内(大学院)」(以下「奨学金 案内」)を熟読し、申込内容を決めてください。

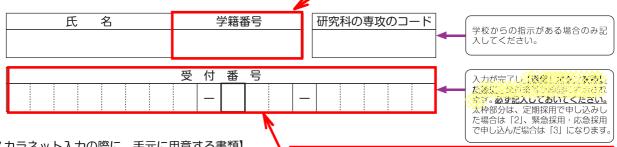
「奨学金案内」及び以下の注意事項を参照してこの下書き用紙に記入し、間違いがないことを確認した上で日本学 生支援機構のスカラネット用ホームページにアクセスして入力してください。入力が完了すると、「奨学金申込情報ー

覧」が表示されますので、内容を再確認し、画面を印刷するなどし、メールアドレスで使用されている"S"は お、「送信」ボタンを押した後に内容を訂正することはできません

必要ありません。

※受付番号は、入力完了時に確認として

表示されますので、現時点では未記入でOK



【スカラネット入力の際に、手元に用意する書類】

以下の2点は、必ず手元に用意してください。

・学校から受け取った識別番号(ユーザIDとパスワード)

・奨学金振込口座(本人名義)の通帳などのコピー(本冊子 11 ページに貼り付けてください。)

スカラネット用ホームページアドレス(URL) https://www.sas.jasso.go.jp/ 受付時間8:00~25:00 (最終締切日の受付時間は8:00~24:00)

※受付時間を過ぎると画面が強制終了します。余裕をもって入力できるよう、 入力開始時間には注意してください。(入力時間の目安:30分~1時間)

文字入力について

① 使用不可な文字

氏名は原則、住民票の記載とおりに入力してください。ただし、次の $(P)\sim(p)$ の留意点があります。

- (ア) 旧字体・異体字等は、機構のシステム上登録できない文字があります。この場合、常用字体・通用字体で表示されます(吉→吉、祐→祐、 廣→廣 等)。
 - また、旧字体・異体字等の一部、対応できない文字があります。エラーとなり先に進めませんので、常用字体・通用字体で入力してください。 対応する常用字体・通用字体がない場合は、ひらがなで入力してください。
- (イ) 読み方を表す「カナ氏名」には、カタカナの「ヲ」は使用できません。「オ」と入力してください。
- (ウ) 外国籍の人の氏名は、□座開設時に用いた住民票や在留資格証明書等の公的証明書類の記載をもとに、カタカナで入力してください。 ・入力方法は下記②の(例)を参照してください。
 - ・アルファベットの場合は使用できないため、カタカナに読み替えてください。
- ・(申込者本人のみ)銀行の振込□座が「名→姓」の順で登録されている場合には、例外的に振込□座に合わせて入力してください。
- ② 文字数の制限(本人氏名欄、生計維持者欄)

「漢字氏名」欄は姓・名それぞれ全角5文字まで、「カナ氏名」欄は姓・名それぞれ全角15文字まで入力できます。

制限文字数を超える場合は、入力可能な文字数まで入力してください(名前が途切れていてもかまいません)。漢字氏名欄は途中で入力を止め、 カナ氏名欄でフルネームを入力してください。

※全角漢字氏名欄に6文字以上入力すると、エラーになり先に進めません。

_____ カナ氏名欄は15文字まで入力できますので、フルネームを入力してください。

- (例) 奨学 トーマス 太郎 ・漢字氏名欄 【姓】奨学 【名】トーマス太 (「郎」は切る)
- ・カナ氏名欄 【姓】ショウガク 【名】トーマスタロウ

【スカラネット入力内容記入欄】

※インターネットで申し込む際は、1ページ「文字入力について」を参照して文字を入力してください。

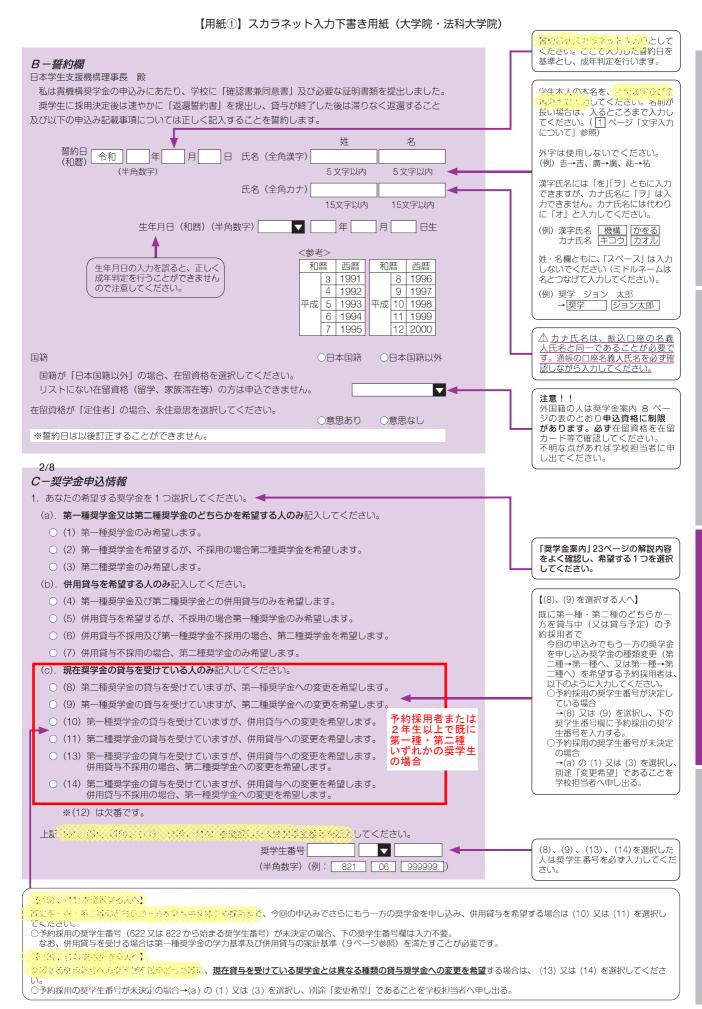
| 受付後、大学からID・PW配付 | |
|---|---|
| ログイン | パスワードはスカラネット入力時は |
| あなたの識別番号(ユーザ ID とパスワード)を入力して、下の「ログイン」ボタンを押してください。 (注)パスワード入力の際は全角・半角、大文字・小文字の区別をします。 | 黒丸記号での表示になります。入力が エラーになる場合は、入力した文字 |
| (注)バスラードハノルの際は主角・十角、大文子・小文子の区がをします。 | を目で見て確認できるよう、最初に |
| ユーザID パスワード | ユーザ ID 欄に入力し、それをコピー して貼り付けてみてください。 |
| | して知り付けてみてください。 |
| | |
| 確認書兼同意書の提出 | |
| あなた(あなたが未成年(18歳未満)の場合は、あなたと親権者または未成年後見人)は、「確認書兼同意書」 | |
| に記載されている次の内容を確認・承認したうえで、署名した「確認書兼同意書」を提出しましたか。 | |
| ・貸与申込条件等 | ── 「提出していません。」を選択した場合 |
| ・個人信用情報の取扱いに関する同意条項 | はスカラネットの次の画面へ進むこ |
| ※「個人信用情報の取扱いに関する同意条項」には、延滞するとあなたの個人情報が個人信用情報機関に登 | │ │ とができません。 │ │ 学校に「確認書兼同意書」を提出した |
| 録される等、重要な内容が記載されています。 | 後、再入力してください。 |
| ○提出しました。 ○提出していません。 ■ | |
| 下の「規程等を表示」ボタンを押して規程等(保証委託約款を含む)を確認し、 | 規程等の表示を行わないと、次の画面へ 進むことができません。 |
| アネオス担合のA 中心を行ってください 「 | 200000000000000000000000000000000000000 |
| 規程等を表示 | 「了承します」にチェックを入れないと、 |
| ※規程等を確認するまで、次の画面に進むことはできません。 □ 了承します ◆ ■ ■ ■ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ □ | 次の画面へ進むことができません。 |
| 次の画面に進みます。下の「次へ」ボタンを押してください。 次 へ | 規程等を表示し、「了承します」にチェッ |
| | クを入れると活性化します。 |
| | |
| 奨学金学種(学校)の選択 | |
| あなたはどの課程で奨学金を受けたいですか。 | ━━(課程を選択してください。 |
| | |
| 課程:大学院を選択した場合の例 | |
| | |
| あなたはどの課程で奨学金を受けたいですか。 大学院 ▼ | |
| 申込む奨学金 (1) , (2) , (3) または (4) を選択後、「次へ」ボタンを押してください。 | 課程を選択すると、申し込む奨学金を |
| 中心の英子並(17、(27、(3) なたは(4) を選択後、「次(3 ボタフを押してへたさい。 (1) 予約採用 | ■ 選択する画面が表示されます。 |
| (1) 3 MJA(1) | ※この「下書き用紙」及び「奨学金 案内」では、(2) 又は(3)を選択 |
| 来年度国内の大学院へ進学を予定している人は申し込むことができます。 | した場合について説明しています。 |
| ○ (b) 海外の大学院への進学予定者 | |
| 来年度海外の大学院へ進学を予定している人は申し込むことができます。 | |
| (2) 定期採用 (1次又は2次) | |
| 現在在学している大学院での奨学金を申し込むことができます。 | |
| | |
| ○ 過去1年以内に生計を維持している人が失職、破産、倒産、病気、死亡等又は火災、風水害等 | |
| により家計急変が生じた人のみ申し込むことができます。 学校で申込資格を確認してください。 | |
| (4) 第二種奨学金(短期留学) | |
| ○ 国内の学校等に在籍中に海外の大学等へ短期留学する人は申し込むことができます。 | |
| 現在、日本学生支援機構の他の奨学金を貸与中の場合は、その奨学金の採用年度によって申込の 条件が異なります。学校で申込資格を確認してください。 | |
| | |
| | |
| | |
| 1/8 | |
| Λ - ロオ学生寺坪機構将学会の家内 | |

・第一種奨学金

無利子の奨学金で、特に優れた学生及び生徒で経済的理由により著しく修学困難な者に貸与します。

利子付きの奨学金(在学中は無利子)で、第一種奨学金よりゆるやかな基準によって選考された者に 貸与します。

緊急採用・応急採用の申込みをする人 は、緊急採用・応急採用の案内文が表示 されます。



| 【用紙①】スカラネット入力下書き用紙(大学院・法科大学院) | |
|--|--|
| D 一 あ な た の 在 学 情 報 1. 大 学 院 | (2) 学籍番号は半角英数字や半角ハイフン(-)以外の文字を入力するこ |
| (1) あなたの大学院名を確認してください。 (1) (2) あなたの学籍(学生証)番号を記入してください。 | とができません。学籍番号に英数 字以外の文字が使われている場合、 学校の指示に従ってください。 |
| (2) (半角英数字記号) 頭に"S"は不要 | 法科大学院の人は |
| | (3) あなたは法科大学院の課程に在学 していますね。○はい ○いいえ と表示されます。 |
| (3) あなたの在学している課程を選択してください。 (3) 選択肢表示 ▽ ▽ | (3) (4) はプルダウンに表示された中から選択してください。 |
| (4) あなたの在学している研究科を選択してください。 (4) 選択肢表示 | (5) 学校からの指示がない場合は未 入力でかまいません。 |
| (5) あなたの在学している研究科の専攻のコードを記入してください。 | |
| (注) 専攻コードについては学校へ確認の後記入してください。 (5) (半角数字) ★記入のままにすること | (6) 下記に掲載の < 入学・卒業予定 年月早見表> を参照し、卒業年 月に合わせた実質年次を入力してください。 (例)○一貫制博士課程の3年次 → 3 年次 |
| (6) 年次を記入してください。 (6) (半角数字) 年次 ◀ (7) 昼夜課程を選択してください。 (7) ○昼(昼夜開講含む) ○夜 ○通信 ◀ (7) ○昼(昼夜開講含む) | ● ②2年次休学のため3年次へ進学できなかった場合→2年次 実質年次がわからない場合は学校に ・ フィナギュー |
| (8) あなたの入学年月を記入してください。 (注) 入学年月(特に編入学者)は必ず学校へ確認の後記入してください。 | 確認してください。 長期履修課程に在学する人は、学校 の指示に従い入力してください。 |
| (8) 西暦(半角数字 4 桁) | (7) 通常は「昼 (昼夜開講含む)」 又は「夜」を選択します。 |
| (9) 西暦 (半角数字 4 桁) 年 月修了 (見込) 予定 (10) あなたの修業年限を記入してください。 (10) (半角数字) | (8) 1年次に入学したときの実際の年月を入力してください。なお、現在在学している学校に編入学又は転等した場合は、編入学又は転等の前に在学していた学校の1年次に入学したときの実際の年月を入力してください。 (9) 通常は正規の修了予定年月を入力します。例えば新入生で2年課程の人は2024年3月になりますが、過去に体学当初の修了予定年月ではなく、今現在の修了予定年月を入力してください。 (4) を発照してください。 (5) を発照してください。 (10) 「修業年限」とは、あなたの課程が何年課程のものかという意味ではありません。 長期修修課程に在籍している場合 |
| E-奨学金貸与額情報 | も、修業年限はあくまで標準修業 年限を入力します。長期履修に ついては「奨学金案内」11ページ を参照。 ブルダウンリストから希望する月額 を選択してください。 貸与月額は「奨学金案内」6ページ を参照してください。スカラネット 入力時は、あなたの情報から判定された月額が表示されます。 春の定期採用で採用されると、条 金のでする。「秋は、2022年10月」となります。 |
| | 第一種奨学金を希望する人は、返還 方式を選択できます。「奨学金案内」 13~14ページを確認のうえ、どちら かを選択してください。 |

| 【用紙①】スカラネット入力下書き用紙(大学院・法科大学院) | |
|---|--|
| (3) 第一種奨学金の再貸与を希望しますか。 (3)○はい ○いいえ ◀ | 過去に大学院の同じ課程の区分で第一 種奨学金を受けたことがある人は「はい」 を選択してください。 |
| 「はい」と答えた人はこれまでに今回申込 <mark>と除って学・</mark> 同一課程で貸与を受けた第一種奨学金の奨学生番号を記入してください。 (大学院) 奨学生番号 (半角数字) 第一種奨学金の再貸与を希望する人は、再貸与の制度を確認し、同意する場合のみ、申込を行ってく | E - 奨学金貸与額情報 1. (3) で 「はい」と答えた人に表示されます。 |
| ださい。 (注) 制度等を確認するまで、次の画面に進むことはできません。 □ 同意します (4) あなたは「地方創生枠推薦者」ですか。 (はいの場合) 受付時に「地方創生枠推薦者決定通知 「進学先提出用】」提出のこと 「はい」と答えた人は、推薦者決定に際して、奨学金申込時に入力するよう指示された番号を入力してください。 (半角数字) | 「地方創生枠推薦者」とは、地方公共 団体と地元産業界が協力し、将来の 地域産業の担い手となる学生等を応 援する取組みとして、基金を設置し た地方公共団体(基金設置団体)か ら推薦された人です。各都道府県に おいて100名を上限として推薦されて います。 基金設置団体から「地方創生枠」と しての推薦を受けていない人は、「い いえ」を選択して次に進んでくださ い。 |
| 第一種奨学金の再貸与制度とは? 過去に第一種奨学金の貸与を受けた人が、同じ学校区分(下表 [大学院の課程の区分] 参照)で再度新たに第一種奨学金の貸与を受けることができる制度です。 [奨学金案内] 11 ページも参照してください。 (注)過去に大学院で第一種奨学金の貸与を受けたことがない人や、修士・博士前期課程にて第一種奨学金の貸与を受けていた人が博士後期課程にて第一種奨学金を希望する場合は、再貸与制度には該当しません。 [大学院の課程の区分] | 法科大学院の人は (1) で15万円を選択すると、 (2) 15万円の月額を選択した人のみ増額貸与を希望することができます。 あなたは増額貸与を希望しますか。 (2) ○4万円 ○7万円 ○希望しない (3) あなたは何月分から貸与を希望 |
| 修士課程相当 修士課程、博士前期課程、専門職大学院課程(法科大学院を含む)、一貫制博士課程 前期相当分 | しますか。 と表示されます。 併用貸与を希望した人に表示されま |
| 博士課程、博士後期課程、博士医・歯・薬・獣医学課程※、一貫制博士課程後期相当分 博士課程相当 ※6年制薬学部に基礎を置く薬学系大学院博士課程(4年制)については、博士医・ 歯・薬・獣医学課程として取扱います。 | す。 併用貸与については、「奨学金案内」 6ページを参照してください。 |
| 2. は、2/8画面C-奨学金申込情報で (2)(3)(4)(5)(6)(7)(9)(10)(13)選択者 のみ記入 2. ※ご修学学会を発覚する人は次のことに答えてください。 | 併用貸与を希望し、第二種奨学金で最 高月額を選択した人に表示されます。 |
| (1) あなたの希望する月額を1つ選択してください。 (1) | 併用貸与を希望した人は、貸与月額が 適切であることを確認後、「はい」を |
| 5万円 8万円 10万円 13万円 15万円 15万円 ※貸与月額について確認してください。 あなたは、併用貸与を希望しています。併用貸与を受けると貸与総額及び毎月の返還額が多額となります。 この申込手続終了後、貸与月額が適切であるか再度確認してください。 なお、第二種奨学金の最高月額を選択した場合は、「家庭事情情報」欄に第二種奨学金の最高月額を必要 とする「理由」をご記入いただくことになります。 ご記入いただいた「理由」については、学校担当者から確認等を行う場合があります。 | 選択してください。 春の定期採用に申込みする人は、1022年4月の日本のでは、1022年4月の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の日本の |
| (2) あなたは何月分から貸与を希望しますか。 (注) 奨学生採用後は貸与始期の変更はできません。 (2) 西暦(半角数字 4 桁) 2022 年 月 3. 入学時特別増額貸与奨学金を希望する人のみ答えてください。 (1) あなたは入学時特別増額貸与奨学金を希望しますか。 1年欠に入学した人かよび紀入学の人のの希望することができます。 (1) ○はい ○いいえ (2) 「はい」と答えた人は、希望する額を選択してください。 (2) ○10万円 ○20万円 ○30万円 ○40万円 ○50万円 4. 第二種奨学金または入学時特別増額貸与奨学金を希望する人は答えてください。 | 入学時特別増額貸与奨学金は入学した課程において、1回しか受けることができません。そのため、すでに入学時に入学時特別増額貸与奨学金の貸与を受けたことがある場合は、「いいえ」を選んでください。編入学の人が編入学時に入学時特別増額貸与奨学金を希望する場合は「いいえ」を選択して学校へ申し出てください。、 (国の教育ローン」を利用できない人を対象としており、第二種奨学金と同様に有利子です。「笑さい。 まり (10ページも参照してください。 |
| (1) あなたの希望する利率の算定方法を選択してください。 必ずいずれかを選択 (1)○利率固定方式 ○利率見直し方式 ▼ (1)○利率固定方式 ○利率見直し方式 | 返還時の利率の算定方法を選択する 項目です。詳しくは「奨学金案内」 12ページを参照してください。 |

| | 子(死) |
|---|------------------|
| 3/8 | |
| F-あなたの履歴情報 | |
| 1. あなたの最終学歴を記入してください。 | |
| 1. 西暦(半角数字 4 桁) 年 月▼ 卒業または退学▼ | 直近に卒業又は退学した学校の年月 |
| あなたはこれまでに日本学生支援機構あるいは日本育英会の奨学金の貸与・給付を 受けたことがありますか。 | 及び学校を選択してください。 |
| 2. Oはい Oいいえ < | |
| 「はい」と答えた人はその時の奨学生番号を記入してください。 🚤 | ── |
| ※貸与・給付を受けた奨学金が複数ある場合は、「追加」ボタンを押して、すべての奨学生番号を記入 してください。 ※奨学生番号の記入を取り消す場合は、「削除」ボタンを押してください。 | を入力してください。 |

【用紙①】スカラネット入力下書き用紙(大学院・法科大学院)

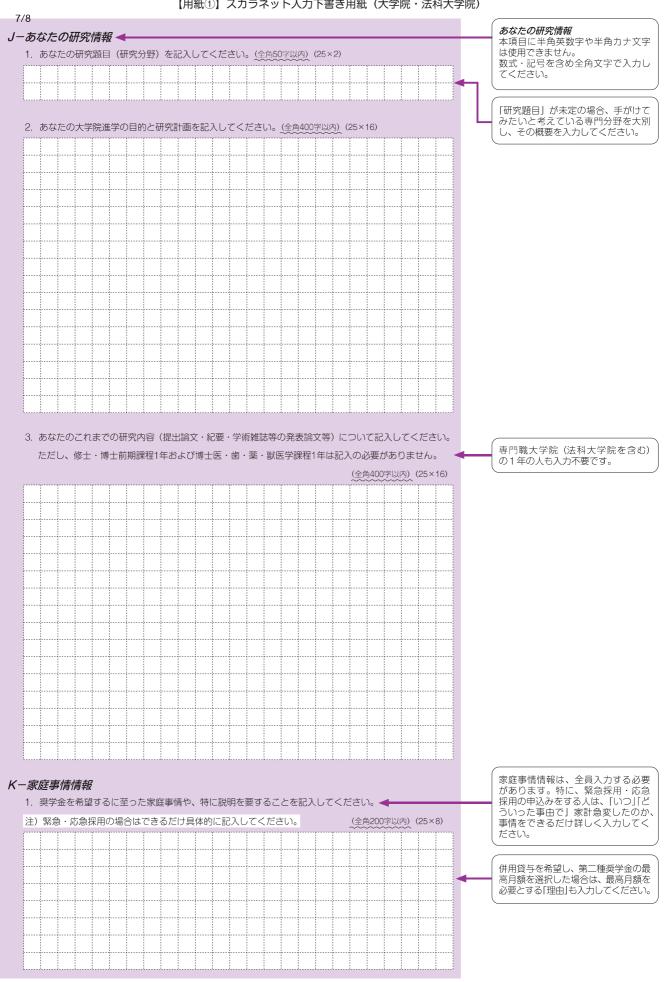
| 5/8 | |
|---|--|
| H-貸与奨学金返還誓約書情報 1. あなた自身について入力してください。 | <i>Bー誓約欄</i> で入力した姓名が表示されます。 |
| (1) あなたのお名前は△△ ○○さんですね。 ◀ | B−誓約欄 で入力した生年月日により |
| (2) あなたの性別を選択してください。(任意) (2) ▼ | 判定されます。 |
| (3) あなたの生年月日は××年△△月○○日ですね。 (3) 成年判定 ◆ | (4) 住民票に記載されている住所を事 |
| (4) あなたの住民祭に記載されている 含所を記入してください。 ◆ (4) (郵便番号) (半角数字) | 前に確認してください。 |
| 住所 1 (自動入力) 住所 2 (番地以降)(全角文字) 番地、号室漏れなく記入すること | ・郵便番号を郵便局ホームページ等で 住所をもとに事前に確認してくださ い。 |
| (5) あなたの電話番号を記入してください。 | 郵便番号入力後に「住所検索」ボターンを押すと、入力した郵便番号に相 |
| ※自宅電話番号がなければ携帯電話の電話番号で構いません。 | 当する住所が「住所1」に自動表示 |
| (5) (半角数字) | されますので、お住まいの住所を選択してください。「住所2」には、「住所1で選択した住所以降を、番地等が重複しないように入力してください。 |
| | ※下記の「住所の入力例」参照 ・固定電話と携帯電話を両方所有している場合は、どちらとも入力し |
| 機関保証選択者のみ記入 | てください。 |
| G-保証制度 で「(1) 機関保証」を選んだ人 | O (DETHUT) 5(1) Was (DETH |
| 2. 水大り引き変終発について ◀ あなたは保証制度画面で「機関保証」を選択しています。あなた以外の連絡先について入力してください。 | G-保証制度にて「(1) 機関保証」を 選択した場合に表示されます。 「奨学金案内」17~18ページを参照。 |
| (1) その氏名 姓 名 (1) 漢字(全角漢字) カナ(全角カナ) | 機関保証を選択する人は、あなた(本人)以外の連絡先を入力する必要があります。あなたに送付する重要な書類が届かない場合等に、ここに入力した連絡先に、あなたの住所・電話番号を照会することがあります。 |
| (2) その生年月日 (2) (和暦) (半角数字) ■ 年 月 日生 (3) あなたとの続柄 (3) ■ ▼ | 注意! 「本人以外の連絡先」の入力をする前に、必ずその人の承諾を得てください。ここで入力した「本人以外の連絡先」は採用されると返還誓約書に印字されます。万一返還誓約書に自署してもらえないと不備となり奨学生の |
| (4) その住所 (4) (郵便番号) (半角数字) | 資格を失うことになります。 ・海外の住所を入力することはできま |
| 住所1 (自動入力) 住所2 (番地以降)(全角文字) | せん。 連絡の取れる日本国内の住所を入力 してください。 ・郵便番号を郵便局ホームページ等で 住所をもとに事前に確認してくださ い。 |
| (5) その電話番号 ※自宅電話番号がなければ携帯電話の電話番号で構いません。 (5) (半角数字) | ■ 郵便番号入力後に「住所検索」ボタ ンを押すと、入力した郵便番号に相 当する住所が「住所1」に自動表示 されますので、お住まいの住所を選 択してください。「住所2」には、「住 所1」で選択した住所以降を、番地 等が重複しないように入力してくだ |
| その携帯電話の電話番号 (携帯)(半角数字) | さい。 ※下記の「住所の入力例」参照 ・固定電話と携帯電話を両方所有している場合は、どちらとも入力してください。 |
| 住所の入力例 | |
| スペースを含む)。入力減 | カしてください (英数字やハイフン、 弱れがあると次の画面に進めません。 「2欄に全角で「. (ピリオド)」を入力 |
| 表示された住所一覧の中から、正しい住所を選択してください。 してください。 してください。 ※住所2欄には、住所1欄の: | 表示部分を入力しないでください。 |
| 0 7 1 / 5 7 1 3 1 1 0 0 5 5 5 5 7 1 1 mg 1 7 5 1 mg 1 | 「1丁目」を選択し、住所2欄に誤って 力した場合、届出内容は「1丁目1丁 ります。 |
| ※住所、電話番号に海外の付 | 注所等を入力することはできません。 、電話番号の入力をしてください。 |

【用紙①】スカラネット入力下書き用紙(大学院・法科大学院)

人的保証選択者のみ記入【用紙①】G一保証制度で「(2) 人的保証」を選んだ人

| が 愛替保護人 と保証されていて < | G-保証制度 にて「(2)人的保証 を選択し |
|--|---|
| あなたは保証制度画面で「人的保証」を選択しています。連帯保証人及び保証人について入力 してください。 | た場合に表示されます。 |
| (1) 連帯保証人について入力してください。 | 連帯保証人・保証人の選任条件は必ず「奨学金 案内」19~21ページを必ず確認してください。 |
| ・原則として、父母・兄弟姉妹又はおじ・おば等にしてください。 | |
| ・未成年者等保証能力がない人は認められません。 | |
| ・債務整理(破産等)中の人を連帯保証人に選任することは認められません。 | |
| (a) その氏名 姓 名 | |
| (a) 漢字 (全角漢字) | |
| カナ (全角カナ) | |
| (b) その生年月日 (b) (和暦) (半角数字) □ 年 月 日生 | |
| (c) あなたとの続柄 (c) マ | |
| (d) その住所 | ・海外の住所を入力することはできません。 |
| ・連帯保証人の印鑑登録証明書(市区町村発行)に記載されている住所を入力してくだ | 連絡の取れる日本国内の住所を入力してく |
| さい。 | |
| ※印鑑登録証明書には住民票と同じ住所が記載されています。 | もとに事前に確認してください。 |
| (d) (郵便番号) (半角数字) ———————————————————————————————————— | 郵便番号入力後に「住所検索」ボタンを押 ■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■■ |
| (6) (5) (1) (1) | 「住所1」に自動表示されますので、お住ま いの住所を選択してください。「住所2」に |
| 住所1(自動入力) | は、「住所1」で選択した住所以降を、番地 |
| 住所 2 (番地以降) (全角文字) | 等が重複しないように入力してください。 ※[7]ページの「住所の入力例」参照 |
| (e) その電話番号 | ・固定電話と携帯電話を両方所有している場 |
| ※自宅電話番号がなければ携帯電話の電話番号で構いません。 | 合は、どちらとも入力してください。 |
| (e) (半角数字) | |
| その携帯電話の電話番号 (携帯)(半角数字) | 自営業の場合は「自営業」、農業の場合は「農 |
| (f) その勤務先 (f) (全角文字) - | 日営来の場合は「日営未」、長来の場合は「長 業」と記入してください。 |
| 勤務先電話番号 (半角数字) — — — — | |
| ※連帯保証人が無職の場合は、下記にチェックを入力してください。 | 無職の場合は「その勤務先」には入力せず、 |
| □ 無職→ | |
| — ······ | こちらにチェックを入力してください。 |
| (2) 保証人について入力してください。 | こちらにチェックを入力してください。 |
| (2) 保証人について入力してください。 ・原則として、4親等以内の成年親族のうち、あなた及び連帯保証人と別生計の65歳未満 | こちらにチェックを入力してください。 あなたからみた続柄です。 |
| (2) 保証人について入力してください。 ・原則として、4親等以内の成年親族のうち、あなた及び連帯保証人と別生計の65歳未満の人を選んでください。 | こちらにチェックを入力してください。あなたからみた続柄です。 (例) おじ、おば ※以下の場合は、 [その他(知人等)]と記入 |
| (2) 保証人について入力してください。 ・原則として、4親等以内の成年親族のうち、あなた及び連帯保証人と別生計の65歳未満の人を選んでください。・未成年者等保証能力がない人は認められません。 | こちらにチェックを入力してください。 あなたからみた続柄です。 (例) おじ、おば ※以下の場合は、 (選択) してください。 |
| (2) 保証人について入力してください。 ・原則として、4親等以内の成年親族のうち、あなた及び連帯保証人と別生計の65歳未満の人を選んでください。 ・未成年者等保証能力がない人は認められません。 ・債務整理(破産等)中の人を保証人に選任することは認められません。 | こちらにチェックを入力してください。 あなたからみた続柄です。 (例) おじ、おば ※以下の場合は、 [その他(知人等)] |
| (2) 保証人について入力してください。 ・原則として、4親等以内の成年親族のうち、あなた及び連帯保証人と別生計の65歳未満の人を選んでください。 ・未成年者等保証能力がない人は認められません。 ・債務整理(破産等)中の人を保証人に選任することは認められません。 (a)その氏名 | こちらにチェックを入力してください。 あなたからみた続柄です。 (例) おじ、おば ※以下の場合は、 「その他 (知人等)」と記入 (選択) してください。 ※特に、・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・・ |
| (2) 保証人について入力してください。 ・原則として、4親等以内の成年親族のうち、あなた及び連帯保証人と別生計の65歳未満の人を選んでください。 ・未成年者等保証能力がない人は認められません。 ・債務整理(破産等)中の人を保証人に選任することは認められません。 (a) その氏名 (b) との氏名 (c) との氏名 (d) 漢字(全角漢字) | こちらにチェックを入力してください。 おなたからみた続柄です。 (例) おじ、おば ※以下の場合は、 (選択) してください。 (選択) してください。 は後によりがはない。 は第4000年 (「父 (母)」や「その他(4 親等以内)」を |
| (2) 保証人について入力してください。 ・原則として、4親等以内の成年親族のうち、あなた及び連帯保証人と別生計の65歳未満の人を選んでください。 ・未成年者等保証能力がない人は認められません。 ・債務整理(破産等)中の人を保証人に選任することは認められません。 (a) その氏名 | こちらにチェックを入力してください。 おなたからみた続柄です。 (例) おじ、おば ※以下の場合は、 (選択) してください。 ※特によりを終える。 ※特によりを終える。 を選挙の父母 |
| (2) 保証人について入力してください。 ・原則として、4 親等以内の成年親族のうち、あなた及び連帯保証人と別生計の65歳未満の人を選んでください。 ・未成年者等保証能力がない人は認められません。 ・債務整理(破産等)中の人を保証人に選任することは認められません。 (a) その氏名 | こちらにチェックを入力してください。 あなたからみた続柄です。 (例) おじ、おば ※以下の場合は、 「その他(知人等)」と記入 (選択) してください。 ※第には、原義を大った文章 を主義制にはいりが後を大った本人が多くなないないでください。 選択しないでください。) |
| (2) 保証人について入力してください。 ・原則として、4 親等以内の成年親族のうち、あなた及び連帯保証人と別生計の65歳未満の人を選んでください。 ・未成年者等保証能力がない人は認められません。 ・債務整理(破産等)中の人を保証人に選任することは認められません。 (a) その氏名 | こちらにチェックを入力してください。 あなたからみた続柄です。 (例) おじ、おば ※以下の場合は、 (選択) してください。 ないのは、 「その他 (知人等)」と記入 (選択) してください。 ないのは、 「その他 (知人等)」と記入 (選択) してください。 ないのは、 「その他 (4 親等以内)」を 選択しないでください。) |
| (2) 保証人について入力してください。 ・原則として、4親等以内の成年親族のうち、あなた及び連帯保証人と別生計の65歳未満の人を選んでください。 ・未成年者等保証能力がない人は認められません。 ・債務整理(破産等)中の人を保証人に選任することは認められません。 (a) その氏名 (a) 漢字(全角漢字) カナ(全角カナ) (b) その生年月日 (b) (和暦) (半角数字) 年 月 日生 (c) あなたとの続柄 (c) ▼ (d) その住所 | であらにチェックを入力してください。 おなたからみた続柄です。 (例) おじ、おば ※以下の場合は、 (選択) してください。 (選択) してください。 (選択) してください。 (選択) が育さなったなんの多くなないであるなどのでは (「父(母)」や「その他(4親等以内)」を 選択しないでください。) ・海外の住所を入力することはできません。 連絡の取れる日本国内の住所を入力してください。 |
| (2) 保証人について入力してください。 ・原則として、4 親等以内の成年親族のうち、あなた及び連帯保証人と別生計の65歳未満の人を選んでください。 ・未成年者等保証能力がない人は認められません。 ・債務整理(破産等)中の人を保証人に選任することは認められません。 (a)その氏名 | であらにチェックを入力してください。 あなたからみた続柄です。 (例) おじ、おば ※以下の場合は、 (選択) してください。 「その他 (知人等)」と記入 (選択) してください。 「その他 (4 親等以内)」を 選択しないでください。) ・海外の住所を入力することはできません。 連絡の取れる日本国内の住所を入力してく ださい。 ・郵便番号を郵便局ホームページ等で住所を もとに事前に確認してください。 |
| (2) 保証人について入力してください。 ・原則として、4 親等以内の成年親族のうち、あなた及び連帯保証人と別生計の65歳未満の人を選んでください。 ・未成年者等保証能力がない人は認められません。 ・債務整理(破産等)中の人を保証人に選任することは認められません。 (a) その氏名 (b) その生年月日 (c) 本なたとの続柄 (d) その住所 ・保証人の印鑑登録証明書(市区町村発行)に記載されている住所を入力してください。 ※印鑑登録証明書には住民票と同じ住所が記載されています。 | であらにチェックを入力してください。 あなたからみた続柄です。 (例) おじ、おば ※以下の場合は、 (選択) してください。 「その他 (知人等)」と記入 (選択) してください。 「その他 (4 親等以内)」を 選択しないでください。) ・海外の住所を入力することはできません。 連絡の取れる日本国内の住所を入力してく ださい。 ・郵便番号を郵便局ホームページ等で住所を もとに事前に確認してください。 郵便番号入力後に「住所検索」ボタンを押 |
| (2) 保証人について入力してください。 ・原則として、4 親等以内の成年親族のうち、あなた及び連帯保証人と別生計の65歳未満の人を選んでください。 ・未成年者等保証能力がない人は認められません。 ・債務整理(破産等)中の人を保証人に選任することは認められません。 (a)その氏名 | であらにチェックを入力してください。 おなたからみた続柄です。 (例) おじ、おば ※以下の場合は、 (選択) してください。 (選択) してください。 ※禁禁・スクジョ ・ディックが呼(「父(母)」や「その他(4 親等以内)」を 選択しないでください。) ・海外の住所を入力することはできません。 連絡の取れる日本国内の住所を入力してください。 ・郵便番号を郵便局ホームページ等で住所を もとに事前に確認してください。 郵便番号入力後に「住所検索」ボタンを すっと、入力した郵便番号に相当する住所が 「住所1」に自動表示されますので、お住ま |
| (2) 保証人について入力してください。 ・・原則として、4 親等以内の成年親族のうち、あなた及び連帯保証人と別生計の65歳未満の人を選んでください。 ・・未成年者等保証能力がない人は認められません。 ・・債務整理(破産等)中の人を保証人に選任することは認められません。 (a) その氏名 姓名 (a) 漢字(全角漢字) カナ(全角カナ) サイ(全角カナ) サイ(全角カナ) サイ(全角カナ) サイ(全角カナ) サイ(全角カナ) サイ(全角カナ) サイ(全角カナ) サイ(で) あなたとの続柄 (c) サイ・保証人の印鑑登録証明書(市区町村発行)に記載されている住所を入力してください。 ※印鑑登録証明書には住民票と同じ住所が記載されています。 (d) (郵便番号) (半角数字) サイト (住所検索 ・ 住所1(自動入力) 「住民軍」住所 | であらにチェックを入力してください。 あなたからみた続柄です。 (例) おじ、おば ※以下の場合は、 (選択) してください。 「その他 (知人等)」と記入 (選択) してください。 「その他 (4 親等以内)」を 選択しないでください。) ・海外の住所を入力することはできません。 連絡の取れる日本国内の住所を入力してください。 ・郵便番号を郵便局ホームページ等で住所を もとに事前に確認してください。 郵便番号入力後に「住所検索」ボタンを すさ、入力した郵便番号に相当すると所が 「住所1」に自動表示されますので、おとまいの住所を選択してください。「住所2」に は、「住所1」で選択した住所以降を、番地 |
| (2) 保証人について入力してください。 ・原則として、4 親等以内の成年親族のうち、あなた及び連帯保証人と別生計の65歳未満の人を選んでください。 ・未成年者等保証能力がない人は認められません。 ・債務整理(破産等)中の人を保証人に選任することは認められません。 (a) 深字(全角漢字) | であらにチェックを入力してください。 あなたからみた続柄です。 (例) おじ、おば ※以下の場合は、 (選択) してください。 「その他(知人等)」と記入 (選択) してください。 「その他(4 親等以内)」を 選択しないでください。 ・海外の住所を入力することはできません。 連絡の取れる日本国内の住所を入力してください。 ・郵便番号を郵便局ホームページ等で住所を もとに事前に確認してください。 郵便番号入力後に「住所検索」ボタンを押すと、入力した郵便番号に相当する住所が 「住所1」に自動表示されますので、お住まいの住所を選択してください。「住所2」に は、「住所1」で選択した住所以降を、番地等が重複しないように入力してください。 |
| (2) 保証人について入力してください。 ・原則として、4 親等以内の成年親族のうち、あなた及び連帯保証人と別生計の65歳未満の人を選んでください。 ・未成年者等保証能力がない人は認められません。 ・債務整理(破産等)中の人を保証人に選任することは認められません。 (a) その氏名 | であるためのでは、「その他(知人等)」と記入 (選択) してください。 「その他(知人等)」と記入 (選択) してください。 「その他(知人等)」と記入 (選択) してください。 「その他(4 親等以内)」を 選択しないでください。) 「海外の住所を入力することはできません。 連絡の取れる日本国内の住所を入力してください。 ・郵便番号を郵便局ホームページ等で住所を もとに事前に確認してください。 郵便番号入力後に「住所検索」ボタンを押すと、入力した郵便番号に相当する住所が「住所1」に自動表示されますので、おとにいの住所を選択してください。「住所2」には、「住所1」で選択した住所以降を、番地等が重複しないように入力してください。※ 「アページの「住所の入力例」参照 |
| (2) 保証人について入力してください。 ・原則として、4 親等以内の成年親族のうち、あなた及び連帯保証人と別生計の65歳未満の人を選んでください。 ・未成年者等保証能力がない人は認められません。 ・債務整理(破産等)中の人を保証人に選任することは認められません。 (a) 漢字(全角漢字) | であるためにチェックを入力してください。 あなたからみた続柄です。 (例) おじ、おば ※以下の場合は、 (選択) してください。 「その他 (知人等)」と記入 (選択) してください。 「後には、「多さなったなりでは、「は、「は、「ないでください。 ・ のは所を入力することはできません。 連絡の取れる日本国内の住所を入力してください。 ・ 郵便番号を郵便局ホームページ等で住所を もとに事前に確認してください。 ・ 郵便番号入力後に「住所検索」ボタンを押すと、入力した郵便番号に相当する住所が 「住所1」に自動表示されますので、お住まいの住所を選択してください。「住所2」には、「住所1」で選択した住所以降を、番地等が重複しないように入力してください。 ※ 「マページの「住所の入力例」参照 |
| (2) 保証人について入力してください。 ・原則として、4 親等以内の成年親族のうち、あなた及び連帯保証人と別生計の65歳未満の人を選んでください。 ・未成年者等保証能力がない人は認められません。 ・債務整理(破産等)中の人を保証人に選任することは認められません。 (a) 漢字(全角漢字) | であらにチェックを入力してください。 あなたからみた続柄です。 (例) おじ、おば ※以下の場合は、 (選択) してください。 ※感じみが後をなった文章 を、持続によりが後をなった文章 を、持続によりが後をなった文章 を、持続によりが後をなった文章 を、持続によりが後をなったできません。 連絡の取れる日本国内の住所を入力してください。 ・郵便番号を郵便局ホームページ等で住所を もとに事前に確認してください。 郵便番号入力後に「住所検索」ボタンを押すと、入力した郵便番号に相当する住所が 「住所1」に自動表示されますので、お住まいの住所を選択してください。「住所2」には、「住所1」で選択した住所以降を、番地等が重複しないように入力してください。 ※[フページの「住所の入力例」参照 ・固定電話と携帯電話を両方所有している場 |
| (2) 保証人について入力してください。 ・原則として、4親等以内の成年親族のうち、あなた及び連帯保証人と別生計の65歳未満の人を選んでください。 ・未成年者等保証能力がない人は認められません。 ・債務整理(破産等)中の人を保証人に選任することは認められません。 (a) 深字(全角漢字) | であらにチェックを入力してください。 あなたからみた続柄です。 (例) おじ、おば ※以下の場合は、 (選択) してください。 ※感じみが後をなった文章 を、持続によりが後をなった文章 を、持続によりが後をなった文章 を、持続によりが後をなった文章 を、持続によりが後をなったできません。 連絡の取れる日本国内の住所を入力してください。 ・郵便番号を郵便局ホームページ等で住所を もとに事前に確認してください。 郵便番号入力後に「住所検索」ボタンを押すと、入力した郵便番号に相当する住所が 「住所1」に自動表示されますので、お住まいの住所を選択してください。「住所2」には、「住所1」で選択した住所以降を、番地等が重複しないように入力してください。 ※[フページの「住所の入力例」参照 ・固定電話と携帯電話を両方所有している場 |
| (2) 保証人について入力してください。 ・原則として、4 親等以内の成年親族のうち、あなた及び連帯保証人と別生計の65歳未満の人を選んでください。 ・未成年者等保証能力がない人は認められません。 ・債務整理(破産等)中の人を保証人に選任することは認められません。 (a) その氏名 | であらにチェックを入力してください。 あなたからみた続柄です。 (例) おじ、おば ※以下の場合は、 (選択) してください。 ※第2名は、第2名をかったが会会をできる人類では、第2名は、第2名をかったが会会をできる人類では、「全の他(4 親等以内)」を選択しないでください。) ・ 海外の住所を入力することはできません。 連絡の取れる日本国内の住所を入力してください。 ・ 郵便番号を郵便局ホームページ等で住所をもとに事間に確認してください。 ・ 郵便番号入力後に「住所検索」ボタンを押すと、入力した郵便番号に相当する住所が「住所1」に自動表示されますので、お住まいの住所を選択してください。「住所2」には、「住所1」で選択した住所以降を、番地等が重複しないように入力してください。 ※「アページの「住所の入力例」参照 ・ 固定電話と携帯電話を両方所有している場合は、どちらとも入力してください。 |
| (2) 保証人について入力してください。 ・原則として、4 親等以内の成年親族のうち、あなた及び連帯保証人と別生計の65歳未満の人を選んでください。 ・未成年者等保証能力がない人は認められません。 ・債務整理(破産等)中の人を保証人に選任することは認められません。 (a) 漢字(全角漢字) カナ(全角カナ) (b) その生年月日 (b) (和暦) (半角数字) | であるためのでは、「その他(知人等)」と記入 (選択) してください。 (例) おじ、おば ※以下の場合は、「その他(知人等)」と記入 (選択) してください。 ※第5年 は 第5年 なり を 第5年 ない。 (1文 (母)」や「その他(4 親等以内)」を 選択しないでください。) ・郵便番号を郵便局ホームページ等で住所を もとに事司の後所を入力してください。 郵便番号入力後に「住所検索」ボタンを押すと、入力した郵便番号に相当する住所が「住所1」に自動表示されますので、お住まいの住所を選択してください。「住所2」には、「住所1」で選択した住所以降を、番地等が重複しないように入力してください。 ※「アページの「住所の入力例」参照 ・固定電話と携帯電話を両方所有している場合は、どちらとも入力してください。 |
| (2) 保証人について入力してください。 ・原則として、4 親等以内の成年親族のうち、あなた及び連帯保証人と別生計の65歳未満の人を選んでください。 ・未成年者等保証能力がない人は認められません。 ・債務整理(破産等)中の人を保証人に選任することは認められません。 (a) 漢字(全角漢字) カナ(全角カナ) (b) その生年月日 (b) (和暦) (半角数字) 年 月 日生(c) あなたとの続柄 (c) ▼・(は) その住所 ・保証人の印鑑登録証明書(市区町村発行)に記載されている住所を入力してください。※印鑑登録証明書には住民票と同じ住所が記載されています。 (d) (郵便番号)(半角数字) 「住民票」住所 住所1 (自動入力) 住所2 (番地以降)(全角文字) 「住民票」住所 (e) その電話番号 ※自宅電話番号がなければ携帯電話の電話番号で構いません。 (e) (半角数字) 「中央数字) 「中央票」 中 「中 「中 中 「中 中 「中 中 「中 中 「中 中 「中 中 中 「中 中 中 「中 中 「中 中 中 「中 中 中 中 「中 中 中 中 中 「中 中 中 中 中 中 「中 中 中 中 中 中 中 中 「中 中 中 中 中 中 中 「中 | まなたからみた続柄です。 (例) おじ、おば ※以下の場合は、 (選択) してください。 ※質はは、対象を大った変数 を考めの文印 (「父 (母)」や「その他 (4 親等以内)」を 選択しないでください。 ・ 海外の住所を入力することはできません。 連絡の取れる日本国内の住所を入力してください。 ・ 郵便番号を郵便局ホームページ等で住所を もとに事前に確認してください。 郵便番号入力後に「住所検索」ボタンを押すと、入力した郵便番号に相当する住所が 「住所1」に自動表示されますので、お住まいの住所を選択してください。「住所 2」に は、「住所1」で選択した住所以降を、番地等が重複しないように入力してください。 ※「アページの「住所の入力例」参照 ・ 固定電話と携帯電話を両方所有している場合は、どちらとも入力してください。 |
| (2) 保証人について入力してください。 ・原則として、4 親等以内の成年親族のうち、あなた及び連帯保証人と別生計の65歳未満の人を選んでください。 ・未成年者等保証能力がない人は認められません。 ・債務整理(破産等)中の人を保証人に選任することは認められません。 (a) 漢字(全角漢字) カナ(全角カナ) (b) その生年月日 (b) (和暦) (半角数字) | まなたからみた続柄です。 (例) おじ、おば ※以下の場合は、 (選択) してください。 ※質はは、対象を大った変数 を考めの文印 (「父 (母)」や「その他 (4 親等以内)」を 選択しないでください。 ・ 海外の住所を入力することはできません。 連絡の取れる日本国内の住所を入力してください。 ・ 郵便番号を郵便局ホームページ等で住所を もとに事前に確認してください。 郵便番号入力後に「住所検索」ボタンを押すと、入力した郵便番号に相当する住所が 「住所1」に自動表示されますので、お住まいの住所を選択してください。「住所 2」に は、「住所1」で選択した住所以降を、番地等が重複しないように入力してください。 ※「アページの「住所の入力例」参照 ・ 固定電話と携帯電話を両方所有している場合は、どちらとも入力してください。 |

| 以降、全員記入 | 【田紙①】スカ= | ラネット入力下書き用網 | ff (大学院・法科= | 大学院) |
|-------------------|--------------------------|-----------------------|-----------------------------|--|
| 6/8 | | | u ()(J pl /Δ14) | /-あなたの所得情報 については、「奨 学金案内」 26~28ページを参照のう |
| I-あなたの所得情報 | | | | え入力してください。 |
| 1. あなたの収入につ | いて該当する項目を記入してくださ | U10 | | (1) 基本的に前年の収入のみを入力してください。ただし本年見込 |
| (1) 定職・アルバー | イトについて該当する項目を記入して | てください。 | | の収入金額が、前年に対して変 動する場合に限り、前年の収入 に加えて本年見込の収入金額も |
| | | 収入金額(年額・ | | 入力してください。 |
| | | | 年見込 就労時間 角数字) (半角数字) | ○前年の収入金額と本年見込の収入 金額とで増減がある場合は、本年 |
| 定 職 1. | | 万円 | 万円 | 見込の収入金額で選考します。 |
| 2. | | 万円 | 万円 | ※緊急採用・応急採用の申込みをする 人は、前年欄に家計急変前の収入 |
| | | | 週当たり | 金額を、本年見込欄に家計急変後 の収入金額(年収見込)を入力して |
| アルバイト 1. | | 万円 | 万円 時間 | ください。 |
| | | | | |
| 2 | | 万円 | | |
| 3. | | 万円 | 万円 時間 | |
| 父母等からの給付 | 対額(年額・税込) | 万円 | 万円 | |
| | | | | |
| 奨学金(現在申) | 込中のものは除く)(年額・税込) | 万円 [| 万円 | |
| その他の収入(P | 内容)(全角20文字以内) (年額・税込) | 万円 | 万円◀ | 預貯金の取り崩し等が該当します。 |
| (2) 定職立は週21 | 時間以上のアルバイトに従事してい | ス (のみ記) してください | | |
| | NIDATON NOT LEMPO CO. | 87(0707BB/(0 C (/CC0) | | |
| (a) 退職・休職= | もしくはアルバイトの週当たり就労B | 寺間を21時間未満に減少す | る意思がありますか。 | |
| | | (a) ○ æ | 。 ります ○ありません | υ |
| (ゎ) 「おりまオー | と答えた人はその予定時期を記入し | テノださい | | |
| (0) (0) (9) | | | | |
| | | (b) 西暦 (4桁) | | 3 |
| (3) 配偶者のいる/ | 人はその氏名及び年齢を記入してくた | | _ | |
| | | (3) 氏名 | 名 | |
| | | (4) 200 | | |
| | | | 年齢 | 菱 |
| (4) 配偶者の収入 | 犬況(定職収入のみ)を記入して<ク | ごさい。 | | |
| | | 収入金額(年額・ | 税込) | |
| | | | 年見込 | |
| 給与所得の場合 | (全角) (全 | ·角) (半角数字) (半 | <u>≠角数字)</u> 万円 ▼ | 給与所得の場合は、源泉徴収票の「支 払金額」を入力してください。 |
| 給与所得以外の場合 | | | <u> </u> | |
| (0寸7)1付以7)V場口 | | [万円] [| 万円 ◀ | 給与所得以外の場合は、確定申告書 の「所得金額」を入力してください。 |
| 2. あなたの特記情報 | について記入してください。 | | | |
| 災害・震災に被災し | したことがある人で、被災した災害・ | 震災が選択肢の中に含まれ | こている場合は該当の | |
| ±のた選−□ アノ+ | ニオ い | | | 緊急採用・応急採用で申し込む場合、 プルダウンから該当の災害を選択して |
| ものを選択してくた | | | | ブルダウブから該国の交害を選択して ください。 |



貼り付け

【通帳などの

座名義人及び

口座情報が記載されている部分の

コピー

(A4サイズ)

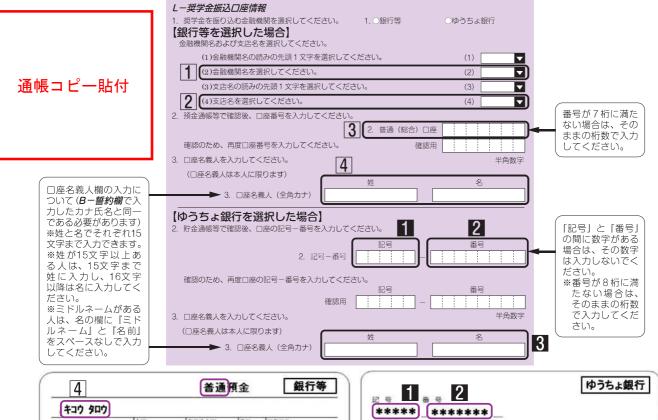
注意!口座情報に間違いがあると、奨学金の初回振込が大幅に遅れることがあります。

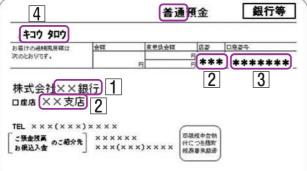
<u>奨学金を継続して受けるためには、スカラネット・パーソナルへの登録が必須であり、</u> 登録には振込口座情報が必要です。通帳などのコピーを本紙に貼付しておくことをお勧めします。

| 奨学金を受け取れる口座は、下記6点の確認が必要です! |
|--|
| あなた本人の 預・貯金口座ですか(あなた本人以外の口座は使用できません)。 |
| 銀行等の 普通預金 または、ゆうちょ銀行の 通常貯金 口座ですか。 |
| 誓約欄のカナ氏名と通帳などの口座名義人(カナ)が同じですか。 |
| 金融機関名および口座番号と支店名(ゆうちょ銀行以外の場合)、または 記号と番号(ゆうちょ銀行の場合)は正しいですか。※1 |
| この通帳は、 1年以内に記帳 できましたか。(=休眠口座になっていない) |
| 信託銀行、農協、外資系銀行、新生銀行、あおぞら銀行、 ネットバンク、コンビニ銀行等は、 振込みできません。※ 2 |
| |

- ※1 3か月以内に新設の支店は選択できない場合があります。
- ※2 一部の信用組合は、振込みできません。

8/8







記入内容を点検しましょう!

- □ 氏名は本名で記入しましたか?
- □ 住所・電話番号をもれなく正確に記入しましたか?
- □ 収入・所得金額について、該当する欄に該当する数字を記入 できていますか?
- □ □座番号を正確に記入しましたか? (誤りがあると振込みできません)

運 要

入力完了後に表示される受付番号を下書き用紙の① ページに記入してください。

| □緊急・応急採用情報 | |
|---|--|
| 1. 家計急変の事由を1つ選択してください。 | (注) この情報欄は、申込画面においては |
| 注) (5) \sim (8)、(10) \sim (12) までは各事由により著しく支出が増大または収入が減少したもの。 | 7/8画面の K-家庭事情情報 欄の後に表示されます。 |
| (15) は生計維持者からの補助を受けずに、本人収入のみで就学している場合のみ。 | <u>緊急採用・応急採用の申込者のみ記</u> <u>入してください。</u> |
| ○ (1) 生計維持者が会社の倒産等により解雇または早期退職したため。 | |
| ○ (2) 生計維持者が死亡したため。 | |
| ○ (3) 生計維持者が離別したため。 | |
| ○ (4) 生計維持者が破産したため。 | |
| ○ (5) 病気 | |
| ○ (6) 事故 | |
| ○ (7) 会社倒産 | |
| ○ (8) 経営不振 | |
| ○ (9) その他生計維持者の給与収入が激減したこと等によるため。 | (9) その他上記以外の事由により給与収入が減少した場合選択してください。 |
| 〇 (10) 火災 | |
| ○ (11) 風水害 | (13) この事由により申込みをする |
| ○ (12) 震災 | 場合は被災(罹災)証明書を学校へ 提出する必要があります。 |
| ○ (13) 災害救助法適用者であるため。 ◀ | |
| ○ (14) 学校廃止 | |
| ○ (15) 本人の収入減少及び支出増大に伴う経済困難 | 貸与始期は、家計急変事由が生じた年 月(申込みから12か月以内。入学した 月を限度として遡及可)以降を選択し |
| 2. 家計急変の事由が生じた年月を記入してください。 | てください。 休学、留年に相当する間を貸与始期に |
| 2. 西暦(半角数字 4 桁) 年 月 | することはできません。詳しい条件は 「奨学金案内」7ページを参照。 |
| 3. 緊急採用(第一種)奨学金を申込む人のみ、希望する貸与始期を記入してください。 | 応急採用(第二種)を申し込む人の貸 |
| 3. 西暦(半角数字4桁) 年 月 ◀ | ル |
| 4. 家計基準該当事由を選択してください。◀ | IF THE Z. (Z) ICED/CO C VICCO 16 |
| ○ (1) 今後 1 年間の所得金額が収入基準額以下になるため。 | 上記1.(家計急変の事由)で(1)~(4)、 (7)~(9)を選択した人は(1)を選択し |
| ○ (2) 年間の支出金額が著しく増大又は収入金額が著しく減少したため。 | てください。(5)~(6)、(10)~(12) を選択した人は(2)を選択し、A欄を記 |
| (年間の支出金額が著しく増加した人はA欄を記入してください。) | 入してください。 (13)~(15)を選択した人は(3)を選 |
| ○ (3) その他上記以外の家計急変により就学継続が困難のため。 | 択しA欄を記入してください。 |
| A. これまでに特別に支出した額、またこれから特別に支出が見込まれる額を記入してください。 | |
| (家屋・家財復旧費、医療費等) ◀ | 病気・事故・火災・風水害・震災により 生命・損害保険等を受けてもなお、支 出が著しく増大した等を事由とする場 |
| 事由 金額 (例:台風による家屋の損壊) | 合、学校の指示に従い認定を受け、支 出事由を明らかにしたうえで、これま |
| これまでに 万円 ◀ | での費用とこれからの支出見込額を入りしてください。 |
| 全角10文字以内 これから 「 | |
| | |
| ※例えば、家計急変が2022年5月、申込が2022年8月の場合は以下の通り入力してください。 | |
| 入力項目 該当期間 例 | |
| | |
| これまでに特別に支出した額 家計急変時~申込時点までにすでに支出 2022年5月~2022年8月 した額 申込以降~家計急変から数えて12か月後 2022年0月 2022年4月 中込以降~家計急変から数えて12か月後 2022年12月 2022年14月 2022年12月 | ╀ |